

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援放課後等デイサービス ファミリー			
○保護者評価実施期間	2025年 1月 25日		～	2025年 3月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	60人	(回答者数)	29人
○従業者評価実施期間	2025年 1月 25日		～	2025年 3月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数)	9人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 13日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	満足度が高く日頃から保護者さんとコミュニケーションが取れ利用者の様子やニーズについて連携がとれる関係を築けている事が予測される。	送迎時に保護者さんとの連携をしっかりと取り、日常の様子や家庭でのことを聞き取っている。また、スタッフ間での共有を行っている。	保護者会や意見交換会などの実施で更なる情報提供やニーズを把握する場を設けることを検討。事業所のカラーや取り組みについて知ってもらう機会を作る
2	日々の活動が工夫され、多様な人との関わりを持つ機会がある	外部講師を招いた(折り紙教室やリトミック等)取り組みや、利用者さんに何をしたいかなどのアンケートを取り、プログラムが固定化されないように工夫を行っている。	地域のイベントに参加を行い、地域の方との交流をふやしていきたい。
3	日々の活動が、固定化しないように、工夫されたプログラムを実施している。		情報収集を行い、新たな活動を模索し利用者の満足度を上げられるように工夫を行う。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	満足度平均は高いが「やや満足」層へのアプローチが必要である。	事業所への安心感、信頼感を獲得するための工夫、改善を検討する	児童の情報共有について事業所での様子だけでなくその他の生活の場での様子について共有できる体制の実施。職員の保護者連携のスキル獲得と専門性の向上で安心と信頼の獲得を図る
2	インクルージョン推進項目で獲得点が低いこと	行事や地域交流イベントを企画し、周知を行う。	地域イベントへの参加企画や、地域施設の利用などを設けて参加者を募る。インクルージョン推進の目的を周知する。
3	災害、避難訓練の実施項目について獲得点が低いこと	避難訓練、有事に必要なシミュレーションを実施している。保護者や利用者へ実施日、実施結果等が共有されていない。	避難訓練、実際に起きたときのシミュレーション内容、実施日、実施目的や結果を随時に保護者に周知を行う。利用者には発達に応じた方法で正しい目的を伝えたくて訓練を持続する。